

# 「オンライン」の美ら島を目指して

内閣府沖縄担当部局では、厳しい環境にある沖縄の離島がそれぞれの島の魅力を存分に生かして、オンラインの輝きを放てるよう地元をバックアップする取り組みを進めています。



北大東島意見交換会

この取り組みについては、平成十六年五月に設置した「美ら島会議」（離島活性化調査検討会議）において検討を行ってきました。検討にあたっては、内閣府の若手職員を各島の担当者として置き、県内の四十の有人離島を実際に訪問して島の実情を直接に拝見し、地元の方々とひざを交えながら意見交換を行いました。それらの結果も踏まえ、新

たに平成十七年度には、沖縄離島（美ら島）活性化特別事業や離島プロードバンド環境整備事業などに、沖縄県などと協力して取り組むこととしています。

具体的には、「人材の育成やプロードバンド化の促進など島の基礎的な基盤の充実」、「それぞれの島の特色を生かした産業の育成支援」などを行うこととしています。

また、平成十六年十一月と平成十七年二月に

は美ら島研修（沖

縄市町村職員研

修）を実施し、

離島市町村を中心とした市町村

職員の方々に、

全国各地での地

域活性化への取

り組みを参考に

たに平成十七年度には、沖縄離島（美ら島）活性化特別事業や離島プロードバンド環境整備事業などに、沖縄県などと協力して取り組むこととしています。



水納島(本部町)意見交換会

また、平成十六年十一月と平成十七年二月には美ら島研修（沖縄市町村職員研修）を実施し、離島市町村を中心とした市町村職員の方々に、全国各地での地域活性化への取り組みを参考に

たに平成十七年度には、沖縄離島（美ら島）活性化特別事業や離島プロードバンド環境整備事業などに、沖縄県などと協力して取り組むこととしています。

今、高まりつつある離島への関心が、沖縄の島々、美ら島への追い風となるよう美ら島活性化特別事業などを十分に活用いただき、各島において島の歴史や特色を生かした創意工夫により、小池大臣が述べている「オンライン」の美ら島を目指していただければと考えています。

今後のまちづくりのあり方にについて熱心に議論いただきました。昨年、沖縄県全体の入域観光客数は過去最高であった平成十五年を上回り、五百五万人を数えました。また、八重山では七十万人を超えた。八重山では宮古でも四十万人を目前にするという状況になつております。今年に入つてからは、久米島でプロ野球のキャンプが初めて開催され、期間中はテレビや新聞でも連日取り上げ

渡嘉敷島体験学習(シーカヤック)

